Pioneer sound.vision.soul

コードレスヘッドホンシステム

SE-IR260C/460C

取扱説明書

このたびは、東北パイオニアの製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前にこの「取扱説明書」を最後までよくお読みの上、『安全上のご注意』に従い正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

本文中に記載されている「安全上のご注意」は、誤った使い方をした場合、あなたや他の人々に危険をおよぼす恐れのあることについて書かれています。注意深くお読み下さい。

■仕　様

■一般仕様

変調方式…………………………………………………………周波数変調
搬送波周波数…………………………右チャンネル 2.8MHz/左チャンネル 2.3MHz
到達距離…………………………………………………………約7m
周波数特性……………………………………40～18,000Hz（SE-IR260C）
40～19,000Hz（SE-IR460C）

■トランスミッター（TRE-260/460）

電源…………………………………………DC9V 200mA（付属ACアダプター使用）
音声入力端子…………………………………………ϕ3.5mm 3Pミニジャック
外形寸法………………………………108（幅）×78（奥行き）×29（高さ）mm
質量…………………………………………………………………約90g

■ヘッドホン（SE-IR260/460）

電源……………………………DC2.4V（付属充電式電池×2）/DC3V（単4形乾電池×2）
質量……………………………………………約120g（付属充電式電池含まず）

■付属品

ACアダプター………………………………………………………×1
接続コード（ϕ3.5mm3Pミニプラグ⇔ϕ3.5mmL型3Pミニプラグ）…………×1
変換コード（ϕ3.5mm3Pミニジャック⇒RCAピンプラグ×2）……………×1
ϕ6.3mm3Pプラグアダプター……………………………………×1
専用充電式ニッケル水素電池………………………………………×2
取扱説明書…………………………………………………………×1

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

■アフターサービスについて

この製品の保証期間はお買い上げ後1年間です。
普通の使用状態で保証期間内に故障した場合は、無償修理致します。お買い上げの販売店に製品とお買い上げの領収書（またはレシート）を必ずご持参ください。
保証期間中および経過後のアフターサービスについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
なお、お買い上げの確認のために、必ず販売店の領収書（またはレシート）を保存してください。
当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切後最低6年間保有しています。
また、この製品は一般家庭用として作られたものです。営業目的で使用し故障した場合は、保証期間内でも有償修理を承ります。

商品に関するお問い合わせおよびカタログのご請求は下記のカスタマーサポートセンターへお電話でどうぞ（全国共通 フリーフォン）

カスタマーサポートセンター
家庭用オーディオ/ビジュアル商品のお問い合わせおよびカタログのご請求窓口
フリーフォン 0070ー800ー8181ー22　【一般電話】03ー5496ー2986　【FAX受付】03ー3490ー5718

＜ご注意＞
市外局番「0070」で始まるフリーフォンはPHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話および海外からの国際電話などではご利用になれません。また【一般電話】は、携帯電話、PHS等からのご利用が可能ですが、通話料金がかかります。あらかじめご了承ください。

営業時間　月～金曜 9:30～17:00　土曜・日曜・祝日 9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日除く）

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html

東北パイオニア株式会社 〒994-8585 山形県天童市久野本1105
Printed in China〈WRA1094-A〉

安全上のご注意

安全に正しくお使いいただくために、必ずお守りください。

- **ご使用の前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。**
- **お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保存してください。**

この安全上のご注意、取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。

この表示の欄は「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

この表示の欄は「人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

■絵記号の例

△記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

［異常時の処置］

万一、煙が出ている、変な臭いや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

［使用環境］

この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。風呂場などでは使用しないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

表示された電源電圧（交流100V 50/60Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

［使用方法］

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

雷が鳴り出したら、充電用接点や電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

付属以外のACアダプターを使わないでください。破損・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

自転車に乗りながらや、自動車・オートバイなどの運転中は、絶対にヘッドホンを使用しないでください。交通事故の原因となります。

［設置］

濡れた手でACアダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

［使用方法］

通電中のACアダプターに長時間触れないでください。長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。

旅行などで長時間ご使用にならない時は、安全のため必ずACアダプターをコンセントから抜いてください。

［保守点検］

5年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のためにACアダプターをコンセントから抜いて行ってください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

- 素手で液をさわらない
- 液が目に入った時は、失明の原因になることがあるので、目をこすらず水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

- 付属の充電式電池を他の機器に使用しない。
- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 本機以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

⚠警告　乾電池について

- 機器の表示に合わせて+と−を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解・加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用済みの電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意　乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

お願い

この製品にはニッケル水素電池を使用しております。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素電池を取り出し、リサイクルにご協力ください。

■主な特徴

＜便利でおトクな充電式＞
トランスミッターに充電機能を搭載。ヘッドホンは乾電池での使用も可能。

＜軽量コンパクト＞
掛け心地が快適な軽量ヘッドホン。設置が容易な薄く小さいトランスミッター。

＜ノイズをカット＞
未受信時のノイズをカットする『ミュート回路内蔵』。

＜パワフルサウンド＞
強磁力希土類マグネット採用。

＜2モードサラウンド搭載＞（SEーIR460C のみの機能）
映画や音楽に最適な高品位サラウンド機能搭載。音の広がり感と定位感を高度に両立させたサラウンド回路を搭載。映画館やコンサートホールの感動を手軽に楽しめます。

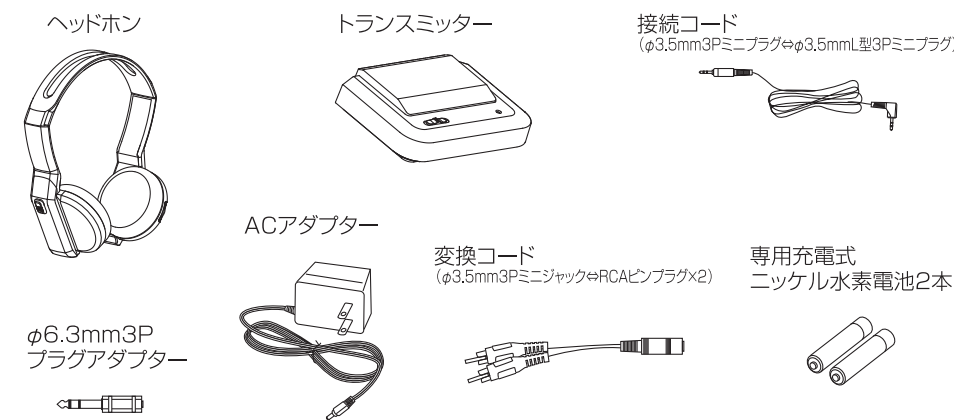
■使用可能範囲

トランスミッターからの赤外線が届く範囲は、おおよそ下図の範囲です。
図に示された範囲内でヘッドホンが使用できます。

ご注意

- ○本機は赤外線を使用しているため、図の範囲内でもトランスミッターから離れるほど雑音が増えます。また、赤外線がさえぎられた場合は音がとぎれたり、雑音が入ることがあります。これらの現象は赤外線の特性によるもので、故障ではありません。
  お使いになる場所の状況によって聞こえかたが異なりますのでトランスミッターの角度を調整し、なるべく聞こえやすい位置でお使いになることをおすすめします。
- ○壁や不透明なガラスなどは赤外線を通しません。ヘッドホンは、必ずトランスミッターが直接見える位置でお使い下さい。
- ○ヘッドホンの赤外線受光部を手や髪でおおわないでください。
- ○直射日光などの強い光線の当たるところやプラズマディスプレイなどの赤外線を多く出している機器の近くでは、音がとぎれたり、ご使用できない場合があります。
- ○トランスミッターの赤外線発光部の明るさにムラがある場合がありますが、赤外線の届く範囲などの性能には影響ありません。

1 製品の構成

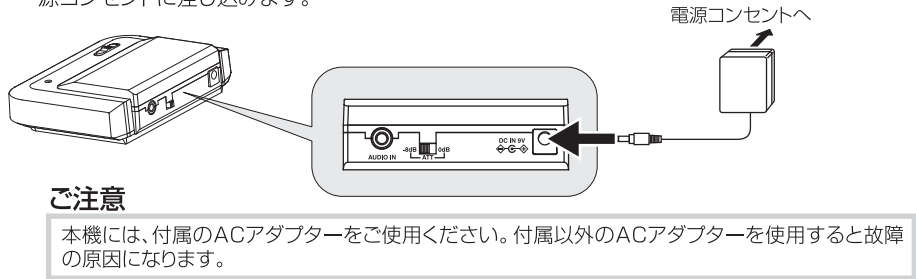
本製品をお使いになる前にすべてそろっているか確かめてください。

2 充電のしかた（最初にお使いになる時は、必ず充電してください）

トランスミッターで、ヘッドホン用の付属専用充電式ニッケル水素電池を充電します。

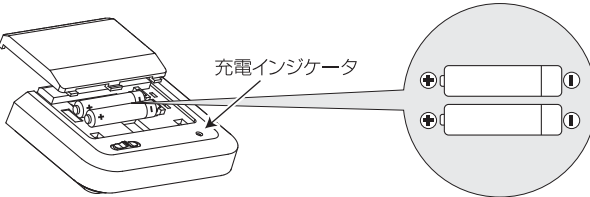
ご注意

トランスミッターは充電式電池では動作しません。
ご使用になるときは、必ずACアダプターを接続してください。

① トランスミッターのDC　IN端子に付属ACアダプターのプラグを差し込み、ACアダプター本体を電源コンセントに差し込みます。

ご注意

本機には、付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると故障の原因になります。

② トランスミッターの電池カバーを矢印の方向に押して外します。

③ 付属専用充電式電池をプラス（＋）、マイナス（－）表示に合わせて入れ、電池カバーを閉めます。充電が開始されると、充電インジケータが点灯します。

④ 約15時間でフル充電になります。自動で充電は終了しませんので、時間になりましたら充電式電池を取り出してください。

ご注意

○ 自動で充電は終了しません。過充電防止のため、充電後は必ず充電式電池を外してください。
○ 充電後は充電式電池が温かくなりますが、異常ではありません。
○ 本機は安全のため、付属充電式電池のみ充電できるようになっています。市販の充電式電池を使っても充電できませんのでご注意ください。
○ 充電は0℃～45℃の環境で行ってください。尚10℃～30℃の環境で行うと効率よく行うことができます。

充電インジケータが点灯しない時は、正常な充電状態ではありません。以下の事が考えられますので、充電式電池挿入口などをご確認ください。

● 付属の充電式電池が正しく挿し込まれていますか?
● 付属の充電式電池の＋端子と－端子の向きは表示と同じですか?
● トランスミッターの充電端子が汚れていませんか?

■充電時間の目安と使用可能時間

充電時間	使用可能時間
約2時間	約3時間30分
約15時間	約29時間

ご注意

○ 付属の充電式電池を十分に充電しても、使用時間が通常の半分くらいになった場合は、新しい充電式電池とお取り替えください。
○ 付属の充電式電池は市販されていませんので、パイオニアご相談窓口またはお買い求めになった販売店にご相談ください。
○ 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

3 トランスミッターの設置のしかた

① トランスミッターの背面にあるAUDIO IN端子とAV機器の出力端子をつなぎます。

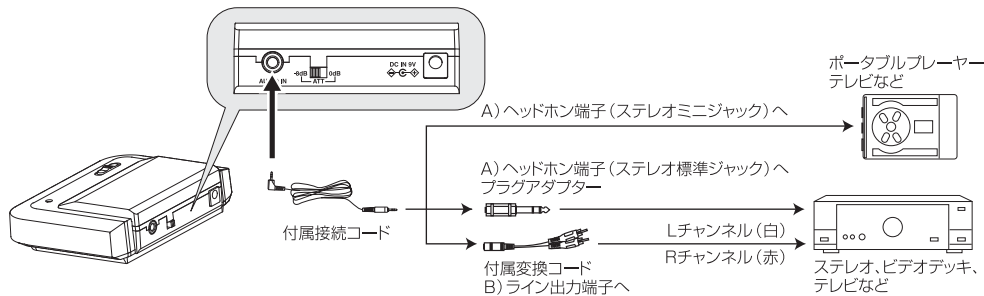
A）AV機器のヘッドホン端子につなぐ場合

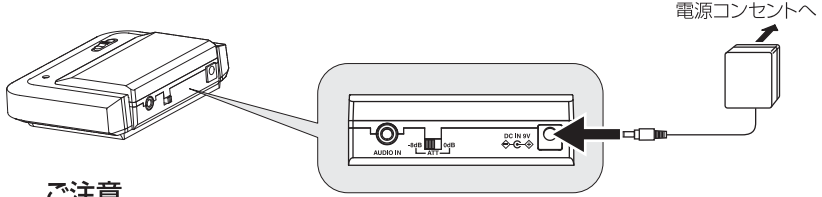
付属接続コードを使用します。
AV機器の端子が、標準ステレオジャックの場合は、付属のプラグアダプターを使用します。

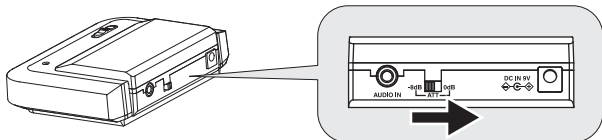
ご注意

イヤホン端子（モノラル）に接続した場合は、ヘッドホンの右から音が出ません。
その場合は、市販のプラグアダプター（ステレオミニジャック⇔モノラルミニプラグ）を使用することで、両側から音を出すことができます。

B）AV機器のライン出力（音声出力）端子につなぐ場合

付属接続コードと付属変換コードを使用します。

② トランスミッターの背面にあるDC　IN端子に付属ACアダプターのプラグを差し込み、ACアダプター本体を電源コンセントに差し込みます。

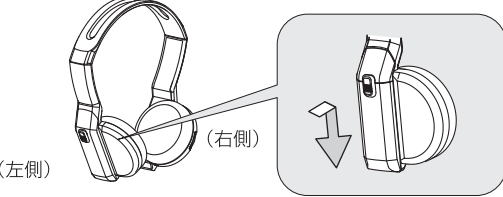
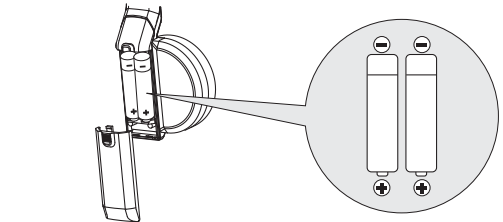
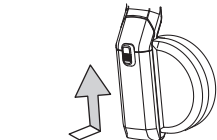
ご注意

本機には、付属のACアダプターをご使用ください。付属以外のACアダプターを使用すると故障の原因になります。

※AV機器やヘッドホンのボリューム調整だけでは満足な音量を得られないときは、トランスミッター背面にあるATT（アッテネーター）スイッチを「0dB」側に切り換えてください。

ご注意

○ ATTスイッチの切換は、必ずヘッドホンの音量を下げてから行ってください。
○ 「0dB」側にスイッチを切り換えて、音声が歪んだりノイズが発生した場合は、「－8dB」側にスイッチを戻してください。

4 電池の入れ方（ヘッドホン）

トランスミッターで充電した付属充電式電池をヘッドホンに入れます。

① ヘッドホンの左ハウジング（L）にある電池ふたの突起部を押しながら、下にスライドさせてふたを外します。

② プラス（＋）、マイナス（－）表示に合わせて電池を入れます。

③ 電池ふたを①と逆の手順で取り付けます。

使用する電池について

本機のヘッドホンは、付属充電式電池の他に市販されている単4形乾電池2本でもご使用になれます。ヘッドホンに使用する電池は、2本とも同じ種類のものを使用してください。

■乾電池を使用した場合の使用時間

乾電池の種類	使用時間
単4形アルカリ乾電池	約40時間
単4形マンガン乾電池	約17時間

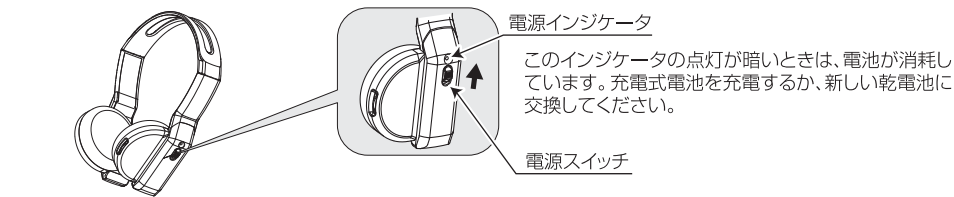
ご注意

不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示に従って処理してください。

5 使い方

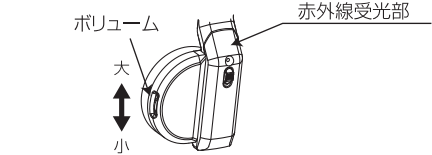
耳の保護のため、ご使用前にヘッドホンの音量を下げておいてください。

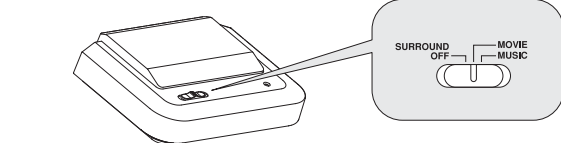
① トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れます。

② ヘッドホンの右ハウジング（R）にある電源スイッチを入れます。
電源スイッチの上にある電源インジケータが点灯します。

③ ヘッドバンドの長さを調整しながら、ヘッドホンをかけます。

右ハウジング（R）が右耳に、左ハウジング（L）が左耳にくるようかけてください。

④ トランスミッターに接続した機器を再生します。つないだAV機器から音声信号が入力されると、トランスミッターの電源が自動で入り赤外線発光部が点灯します。
接続したAV機器の音量は、音がひずまない範囲で、できるだけ大きくしてください。

⑤ ヘッドホンの右ハウジングにあるボリュームで音量を調整します。

赤外線受光部が手でおおわれると、ミュート機能が働き音が聞こえなくなる場合があります。
その場合は、トランスミッターに近づくか、赤外線受光部を手でおおわないよう注意しながら調整してください。

⑥ サラウンドモードを切り換えます。（SE-IR460Cのみの機能）
ご注意:SE-IR260Cには、この機能はついておりません。

トランスミッターについているSURROUND切り換えスイッチで、サラウンド効果を得ることができます。

OFF	MOVIE	MUSIC
通常の 2チャンネル 再生	映画ソフトの 再生に適した サラウンドモード	音楽ソフトの 再生に適した サラウンドモード

6 使い終わったらヘッドホンの電源をお切りください

ヘッドホンをはずしてから、ヘッドホンの電源を切ります。

トランスミッターは、音声信号が入力されなくなった後、約5分で自動的に電源が切れます。使用しない時はできるだけACアダプターをコンセントから抜いてください。

■ ミュート機能

赤外線の届く範囲から離れたり、赤外線がさえぎられると雑音が増えます。
この雑音が大きくなると自動的にミュート機能が働き、ヘッドホンから音が聞こえなくなります。
トランスミッターに近づくか、赤外線をさえぎらないようにすると、自動的にミュート状態が解除され、再び音が聞こえるようになります。

■ 自動パワーオフ機能

トランスミッターの電源は、音声信号が5分以上入力されないと自動的に切れます。
音声信号が入力されれば、再び自動で電源が入ります。

使用上のご注意

取扱いについて

● トランスミッターやヘッドホンを落としたりぶつけたりなど強いショックを与えないでください。故障の原因になります。

次のような所には置かないでください

● 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所。
● ほこりの多い所。
● ぐらついた台の上や傾いた所。
● 風呂場など湿気の多い所。

長期間使用しないときは

● ヘッドホンから電池を取り出しておいてください。液もれやさびつきの原因となります。
● ACアダプターをコンセントから抜いてください。
コンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに必ずACアダプター本体をつかんで抜いてください。

異常や不具合が起きたら

● 万一異常や不具合が起きたり、異物が中に入ったときは、すぐに電源を切り、お買い上げ店またはパイオニアサービスステーションの窓口にご相談ください。
● お買い上げ店またはサービスステーションの窓口にお持ちになる際は、必ずヘッドホンとトランスミッターを一緒にお持ちください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用のAV機器等（PC含む）も合わせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、お買い上げの販売店またはパイオニアサービスステーションにご連絡ください。

症　状	原因と処置
音がでない	→トランスミッターとAV機器、ACアダプターとの接続、電源コンセントとの接続を確認してください。 →トランスミッターに接続したAV機器の電源を入れ、再生を始めてください。 →トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続した機器の音量を上げてください。 →ミュート機能が働いている ・トランスミッターの位置や角度を調節してください。 ・トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認してください。 ・なるべくトランスミッターの近くでヘッドホンを使用してください。 →ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。 ・ヘッドホンの充電式電池を充電してください。または乾電池を新しいものと交換してください。
音がひずむ	→トランスミッターのATTスイッチを「－8dB」に切り換えてください。 →トランスミッターに接続したAV機器の音量を下げてください。
音が小さい	→トランスミッターのATTスイッチを「0dB」に切り換えてください。 →トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子につないだ場合は、接続した機器の音量を上げてください。 →ヘッドホンの音量を上げてください。
雑音が多い 音がとぎれる	→トランスミッターの近くでヘッドホンを使用してください。 →トランスミッターとヘッドホンの間に障害物がないか確認してください。 →赤外線受光部を手や髪などでおおっていないか確認してください。 →トランスミッターをAV機器のヘッドホン端子ににつないだ場合は、接続した機器の音量を上げてください。 →ヘッドホンの赤外線受光部に直射日光が当たっているときは、カーテンやブラインドを閉めて直射日光が当たらないようにしてください。 →プラズマディスプレイが近くにあるときは、本システムを離してください。 →ヘッドホンの電源ランプが暗い、点滅する、または消灯している。 ・ヘッドホンの充電式電池を充電してください。または乾電池を新しいものと交換してください。 →本機以外のトランスミッターを同時に使用しているときは、他のトランスミッターの電源を切るか、他のトランスミッターの赤外線が届かない所へ移動してください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、ACアダプターを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、お買い上げの販売店または最寄りのサービスステーションにご相談ください。